

[9] 西都市小体連

I 年間事業

実施日	曜	事業名	主な内容	会場
5月9日	水	第1回 体育主任会	役員選出 主題研究の推進	妻北小学校
6月12日	火	第2回 体育主任会	主題研究の推進 水泳大会の運営確認	妻南小学校
7月24日	火	水泳大会前日準備	水泳大会会場設営 選手名簿作成	妻南小学校
7月25日	水	水泳大会	水泳大会運営 片付け	妻南小学校
8月20日	月	第3回 体育主任会	水泳大会反省 陸上記録会概要確認	妻南小学校
10月1日	月	第4回 体育主任会	主題研究の推進 陸上記録会運営確認	妻南小学校
10月15日	月	学体研事前研究会	授業研究会 大会運営リハーサル	川南小学校
10月26日	金	学体研	大会運営 ポスターセッション発表	川南小学校
11月5日	月	陸上記録会前日準備	陸上記録会会場設営 運営確認	西都市陸上競技場
11月6日	火	陸上記録会	陸上記録会運営 片付け	西都市陸上競技場
2月中旬予定		第5回 体育主任会	次年度への引継確認	妻南小学校

II 事業部のあゆみ

1 水泳大会

- (1) 目的 西都市内の小学生を対象とした「水泳大会」を実施することにより、児童の水泳の技能を高めるとともに児童相互の親睦を図り、学校体育の振興に寄与する。
- (2) 日時 平成30年7月25日(水) 8:30～12:00(小雨決行)
- (3) 会場 西都市立妻南小学校 屋外プール
- (4) 参加者 市内の小学校に在籍する5・6年生の児童(保護者の承諾を受け健康診断で異常のない児童)
- (5) 競技種目 クロール(25m、50m)・平泳ぎ(25m、50m)・100mリレー
- (6) 日程

時刻	内容	備考
8:00	各学校 8:00 までに児童の出席状況を把握し、体育館ステージ前にいる担当へ報告する。	<ul style="list-style-type: none"> ・集合場所体育館、確認後更衣! ・体育館壁面に学校名の紙を貼る。 ・欠席者、選手変更、オーダーの確認 ・役員顔合わせ、打ち合わせをする。
8:10 8:15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 着替え→プールで体操・シャワー・25m泳ぐ ○ 児童管理以外の係打合せ(各役員)→本部席前 	
8:20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水慣れ後に整列 8:25 までには集合整列できるようにする。	・プールサイドに移動する。
8:30	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開会式 <ol style="list-style-type: none"> 1 一同礼 2 教育長あいさつ 3 競技上の注意 4 選手宣誓 5 一同礼 	<ul style="list-style-type: none"> ・式が始まる5分前までに児童の整列を完了させておく。 ・式の間は水泳帽・ゴーグル・タオル・体育服等は身につけさせないこと。 ※ 体育着(上)を脱いだ状態で待機
8:40 9:00	<ul style="list-style-type: none"> ○ 準備運動 ○ 競技 <ol style="list-style-type: none"> ① 25m クロール ② 25m 平泳ぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目とも次の順で行う。 ① 5年女子 ② 5年男子 ③ 6年女子 ④ 6年男子
10:35	<ul style="list-style-type: none"> ※ 25m 競技の記録放送・熱中症対策入水 ③ 50m クロール ④ 50m 平泳ぎ 	
11:00	<ul style="list-style-type: none"> ※ 50m 競技の記録放送と小プールでのリレー選手の水慣れ 	
11:15		
11:20	⑤ 100m リレー	

11:30	○ 閉会式 進行 1 一同礼 2 新記録表彰 3 大会会長あいさつ	
11:40	4 一同礼	

2 陸上記録会

- (1) 目的 西都市内の小学生を対象とした「陸上記録会」を実施することにより、各種の陸上運動の能力を高めるとともに、学校の枠を超えた児童の親睦を図る。
- (2) 日時 平成 30 年 11 月 6 日 (火) 9:30 ~ 15:30 (会場集合は 9:00 まで)
- (3) 会場 西都原運動公園陸上競技場
- (4) 参加者 西都市内の小学校に在学する 6 年生の児童
※ 小体連の承認がある場合はリレーの補充として 5 年生の参加を認める。
ただし、個人種目については記録証のみを授与する。
- (5) 競技種目 走 (100m,200m,800m,1000m,50m ハードル,400m リレー)
走り幅跳び・走り高跳び・ソフトボール投げ
- (6) 日程

時刻	内容		備考																																																																																				
9:00~9:15	※ 9時まではリレーの練習をしておく。(白線を消さないように注意) ○ 係打ち合わせ・・・決勝審判は陸連とそれ以外は係ごとで行う。 ○ 選手名簿で出欠の確認		・引率職員はリレーのコースで指導 ・大会役員は本部席前に集合。																																																																																				
9:15~9:25	○ 児童の移動・集合・整列(事業部長) ・遅くとも 9:25 には集合整列できるよう、児童管理は児童に指示する。理事長は、入場の仕方を全体指導する。		・グラウンド北側トラックに移動し、迅速に整列する。																																																																																				
9:30 9:55	○ 開会式 ① 選手入場 ② 開式のことば (理事長) ③ 国旗・市旗・小体連旗掲揚 (児童代表) ④ 来賓あいさつ (教育長) ⑤ 競技上の注意 (事業部長) ⑥ 選手宣誓 (児童代表) ⑦ ラジオ体操 (児童代表)		・全学校帽子(白)を着用して式に臨む。 ・⑦⑧のマイク移動は事業部長が行う。 ・ラジオ体操では、8番目の運動でイチ・ニ・・・と元気よく声を出す。																																																																																				
10:05 13:15 14:00 15:00	○ 競技 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">トラック種目</th> <th colspan="4">フィールド種目</th> </tr> <tr> <th>順</th> <th>部</th> <th colspan="2">競技種目</th> <th>順</th> <th>部</th> <th colspan="2">競技種目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>特選</td> <td>男子</td> <td>200m 走</td> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">特選</td> <td rowspan="3">男子</td> <td>走り幅跳び</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>一般</td> <td>女子</td> <td>100m 走</td> <td>走り高跳び</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>特選</td> <td>男子</td> <td>1000m 走</td> <td>ソフトボール投げ</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>特選</td> <td>女子</td> <td>800m 走</td> <td rowspan="3">2</td> <td rowspan="3">特選</td> <td rowspan="3">女子</td> <td>走り幅跳び</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>特選</td> <td>女子</td> <td>200m 走</td> <td>走り高跳び</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>一般</td> <td>男子</td> <td>100m 走</td> <td>ソフトボール投げ</td> </tr> <tr> <td colspan="8" style="text-align:center;">昼食(12:00~12:45)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>表現</td> <td colspan="6">子ども臼太鼓踊り (天候によっては中止になる場合があります)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>特選</td> <td>男女</td> <td>50m ハードル</td> <td colspan="4" rowspan="3" style="text-align:center; vertical-align:middle;">(注) 400mリレーはリレー失格の場合、各審判員から本部(理事長→会長→放送)へ連絡し順位等の判断をする。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>特選</td> <td>女子</td> <td>400m リレー</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>特選</td> <td>男子</td> <td>400m リレー</td> </tr> </tbody> </table>		トラック種目				フィールド種目				順	部	競技種目		順	部	競技種目		1	特選	男子	200m 走	1	特選	男子	走り幅跳び	2	一般	女子	100m 走	走り高跳び	3	特選	男子	1000m 走	ソフトボール投げ	4	特選	女子	800m 走	2	特選	女子	走り幅跳び	5	特選	女子	200m 走	走り高跳び	6	一般	男子	100m 走	ソフトボール投げ	昼食(12:00~12:45)								7	表現	子ども臼太鼓踊り (天候によっては中止になる場合があります)						8	特選	男女	50m ハードル	(注) 400mリレーはリレー失格の場合、各審判員から本部(理事長→会長→放送)へ連絡し順位等の判断をする。				9	特選	女子	400m リレー	10	特選	男子	400m リレー	
トラック種目				フィールド種目																																																																																			
順	部	競技種目		順	部	競技種目																																																																																	
1	特選	男子	200m 走	1	特選	男子	走り幅跳び																																																																																
2	一般	女子	100m 走				走り高跳び																																																																																
3	特選	男子	1000m 走				ソフトボール投げ																																																																																
4	特選	女子	800m 走	2	特選	女子	走り幅跳び																																																																																
5	特選	女子	200m 走				走り高跳び																																																																																
6	一般	男子	100m 走				ソフトボール投げ																																																																																
昼食(12:00~12:45)																																																																																							
7	表現	子ども臼太鼓踊り (天候によっては中止になる場合があります)																																																																																					
8	特選	男女	50m ハードル	(注) 400mリレーはリレー失格の場合、各審判員から本部(理事長→会長→放送)へ連絡し順位等の判断をする。																																																																																			
9	特選	女子	400m リレー																																																																																				
10	特選	男子	400m リレー																																																																																				
15:10 15:30	○ 閉会式 (放送・・・閉会式のはじまり→一同礼) ① 新記録表彰 (会長) ② 大会会長あいさつ (会長) ③ 国旗・市旗・小体連旗降納 (児童代表) ④ 閉式のことば (理事長)		・全学校帽子(白)を着用して式に臨む。 ・①は新記録が出た場合のみ行う。 ※リレー失格の場合は各審判員から本部(理事長→会長→放送)へ連絡し順位等の判断をする。																																																																																				

Ⅲ 研究部のあゆみ

1 研究主題並びに副題

<p>研究主題 「主体的に運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育学習の在り方」 副 題 「主体的・対話的で深い学びの視点に立った器械・器具を使つての運動の実践を通して」</p>

2 主題設定の理由

西都市小体連では、平成26年度に西都市内の教員に対し、体育指導についてのアンケートを実施した。その結果、「器械運動系」の領域の指導に困っている教員が多いという実態が浮かび上がった。そこで平成26年度は、優れた実践等を各学校の体育実技研修等で紹介し、課題の解決に向けた取組を行った。平成27年度には研究授業を実施し、実践的に「器械運動系」の領域の研究に取り組み、平成28年度には各校での実践を基に報告会を行うことで研究を深めた。

さらに、平成29年度は、県の研究主題との整合性から、研究主題・副題の見直しを行った。引き続き、領域は「器械運動系」のままで、主体的・対話的で深い学びの視点から、学習形態の工夫、場の工夫、ICT活用の在り方の研究を行った。また、各校での実践についての報告会を行い、本年度は共通の成果・課題について整理した。

2 研究の仮説

1 単位時間の学習過程や単元構成の見直し、主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業実践を行うことで、運動の楽しさや喜びを味わいながら、進んで運動に取り組む児童の育成ができるであろう。

3 研究の内容

すでにあるものを生かしながら、

- (1) 1 単位時間の学習過程の見直し
- (2) 単元構成の見直し
- (3) 主体的・対話的で深い学びの視点の追加の3つの視点での研究を行う。



4 研究の実際

- (1) 1 単位時間の学習過程の見直し

ア 準備運動

それぞれの学校の実態に応じたサーキットトレーニングを実施した。上学年が下学年に教えたり、サポートしたりする時間を設定して、全ての学年・クラスでサーキットトレーニングを実施できるような手立てを講じた。

また、前転系の技に取り組む前に、猫のポーズや蛙の足うち、倒立系の技に取り組む前に腕立ての運動のように準備運動の段階で、主運動につながる感覚づくりを準備運動の中で行うようにした。それにより、主運動の技能が向上し、感覚的に児童が技のポイントが捉えられるようになった。感覚づくりをサーキットトレーニングにも盛り込むことで、より計画的なより継続的な取組になった。



イ 場の準備

「器械運動 指導の手引き」や「まるわかりハンドブック」などの資料をもとに、それぞれの授業の中で、学校や学級の児童の実態に沿った、スモールステップの場の準備の研究を行った。4つのコースを選択させることで、低学年であっても児童の主体的な授業の参加を促すことができた。また、児童同士の対話も生まれ、全員が意欲的に授業に参加することができた。

	①	②	③	④
場	<p>体育館の壁</p> <p>セーフティマット</p>			
取り組む技	<p>壁倒立</p> <p>補助倒立</p> <p>頭倒立</p>	<p>横跳び越し</p> <p>側方倒立回転</p> <p>開脚前転・後転</p>	<p>後転</p> <p>開脚前転・後転</p>	<p>横跳び越し</p> <p>大きな前転</p> <p>側方倒立回転</p>
覚えておくべき点	<p>つま先を天井に向ける</p> <p>お尻をしめてバランスをとる</p>	<p>・まっすぐ前転、後転</p> <p>・膝を伸ばして開脚立ち</p> <p>・まっすぐ側方倒立回転</p>	<p>・後転で膝を伸ばす</p> <p>・つま先を速くに意識する</p> <p>・開脚で立つ</p> <p>・手のひらでしっかりマットを押し</p>	<p>・体から速く位置に手を着く</p>

(2) 単元構成の見直しの見直し

「器械運動 指導の手引き」や「まるわかりハンドブック」において、技の発表として、技の組み合わせやグループ演技の在り方が例示してある。

それらを応用し、西都市小体連では、「シンクロマット」という実践を行った。単元後半にこのような活動を設定することで、児童は見通しをもって授業にのぞみ、ゴールイメージをもって意欲的に学習したり、児童同士が自然とアドバイスをしたりしながら、楽しんで練習する姿が見られた。



(3) 主体的・対話的で深い学びの視点の追加

ア アドバイスタイムの設定

1 単位時間の「はじめ」「中」「まとめ」のそれぞれの段階で、児童同士がポイントやお互いの技について話し合う「アドバイスタイム」を設けた。「はじめ」や「中」の段階では、ポイントが明示にされた学習カードやワークシートをもとに、ポイントを確認させた。児童それぞれがポイントを理解することで、苦手な児童も意欲的に技に挑戦したり、友達と関わり合いながら練習したりする姿が増えた。



また、「まとめ」の段階でも、振り返りの学習カードやワークシートをもとに「アドバイスタイム」を設定した。技がうまくいった児童はうまくいったポイントや次時へのつながりを、技がうまくいかなかった児童は次時は何を意識して練習すればよいか、児童同士で考えを広めたり、深めたりする姿が見られた。

イ ICT機器の活用

「アドバイスタイム」がより効果的なものになるアイテムとして、西都市小体連では、「ICT機器の活用」も研究してきた。そのために取り組んだのが、まずICT機器を使いやすい環境を整備することだった。校内のタブレット端末を整理したり、タブレット用のスタンドを西都地区の小学校に買い揃えたりした。また、実践報告会の中で便利なアプリについて紹介し合うこともあった。このように、ICT機器が「いつでも」使える環境整備を行った。



ICT機器は、主にこのような授業の中の4つの場面（①ポイントの確認、②課題設定、③練習中のアドバイス、④振り返り）で活用した。最初は児童が操作に不慣れなこともあるが、慣れてくると撮影したものを児童同士で見合いながら、自然と対話が生まれた。自分の姿を客観視できるので、ポイントと照らし合わせることで、自分のできていないポイントが明確になり、練習への意欲も高まった。

5 研究の成果と課題

1 単位時間の学習過程や単元構成の見直し、主体的・対話的で深い学びの視点を、授業の中に積極的に取り入れることで進んで運動に取り組む児童が増加した。また、学び合いによる、学習内容の深化を図ることができた。

その一方で、学び合いの時間を十分に確保しながら、基本的な技能がより高まるための手立てや研究の成果をどのように先生方の困り感の解消につなげていくかについては、課題が残った。さらに研究を深めたい。